部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	加藤 正昭	電話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業				短縮コード	経常	3288	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等	・道路法 ・八千代市土地境界査定取扱規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
八千代市土地境界査定規則 (昭和38年6月15日) 市の管理する道路・水路・その他市有地との境界査定及び確認業務。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
土地に対する意識が高まってきたために、境界立会いが困難になってきている。立会いが不調に終わるケースもある。					大項目 (節)	02	道路					
					中項目	02	市道					
					小項目 (施策)	02	一般市道の整備					
					細項目	01	市道の管理					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	☐		計画事業期間	～			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	境界査定を求められた道路、水路。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: ・査定申請を受ける。 ・八千代市土地境界査定取扱規則により市の管理する道路、水路、その他市有地との境界査定及び確認を行う。 ・境界標の設置を行う。 ・境界確定図の交付申請を受け、確定図の交付をする。 ・道路台帳の整備を行う。 ※平成19年度に計画していること: 平成18年度と同じ。						
意図 (何を狙っているのか)	市に移管する道路、水路の境界を確定する。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	市道の管理。						
区分	指標	内容	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	道路、水路境界査定申請件数	件数	79	100	104	120
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	立会い査定日数	日	74	100	104	120
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	査定立会い	%	94	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	都市計画道路の整備済延長	m			34,567	
	指標2	市道の改良整備率	%			68.7	
	指標3						

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業		所属名	土木管理課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,033	530	512	585
		その他	千円	92	72	90	75
	主な事業費の内訳		消耗品費・委託料		消耗品費		消耗品費
人件費(B)		千円	32,667	32,614.6	21,883.9	21,883.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,792	33,216.6	22,485.9	22,543.9	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	市道を管理することが、快適な交通環境整備の推進に結び付くため。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☒ 達成していない ☐ 評価対象外事項	今後も市道の管理業務を続けていく必要があるため。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある ☒ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	道路法などに基づいた意図であるため、民営化に元々なじまない。			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	根拠法令に基づく業務執行が出来ているため。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある ☒ 効率性向上の可能性はある ☐ 両方可能性はある ☐ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 臨時的任用職員等の活用 ☒ IT化等業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
			2		実施主体(所管部署)	
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☒ ある ☐ ない	パソコン導入による一時的な経費増と、データ入力の手間が必要になる。			

コード	3288	事務事業名称	道路境界事業			所属名	土木管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☒ 改革・改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続			境界確認関係の資料をデータ化するなど、事務処理の改善が考えられる。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☒</td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	☐	☐	☒	不 変	☐	☐	☐	低 下	☐	☐	☐	パソコン導入によるコストの増加と、資料のデータ化による成果の向上が考えられる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	☐	☐	☒																							
	不 変	☐	☐	☐																							
	低 下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市道と市民の土地との境界についての事業であるために、市民の意識は高い。	

所属長コメント	道路の境界確定は市民の財産に影響するため、慎重に対応し、IT化等により事務処理の方法等、検討する必要がある。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続	経費の増加についてはその有効性と相対的に検討して実施すべき。